

グループホーム片江・ユニット1

地域密着型サービス自己評価票 (網掛け部分は外部評価も行う調査項目)

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	23	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	GH片江人一人の人として敬い笑顔で優しく接します。家族・地域の方とのふれあいを大切にします。	1	「笑顔」は取りはずせない大変な入居者の方落ち着かれないときなどスタッフも笑顔がなくなりがちにならない様心がけている。地域の方本当に近所の方との接点も多くなった。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居の方が何をいわんとされているか? どうしたらいいのか?等、問題が起こった時等、常に話し合いをする。又つき1回のカンファレンス合同ミーティングも行なっている。	1	管理者として職員(現場)に平等に接しているのが時に叱咤激励の使い分けが必要。
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	常に理念はわかりやすいところに掲示しており誰にでも理解しやすいようにしている。	1	スタッフ申し送り時等唱和している。入居時など家族に説明。今後も続けていく。運営推進会議時。	
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	2	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	いつでも入って来やすい様に会釈は必ず行っている。運営推進会議等に参加、呼びかけている。	1	隣近所の方、若いお母さん達にも声かけ運営推進会議に参加してもらっている。GHとは、理解してもらおう様「輪」を広げていきたい。
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議をととしてGHを理解してもらおう様努め、参加してもらい、又行事の声援等参加出来る様声かけしている。	1	公民館で行なわれる役員会議等にも参加させてもらった。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	老人会の会長さん、自治会長、民生委員さん等と運営推進会議等で話している。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	5	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	入居者が安心して安全に生活して頂く為、常に話し合い家族地域の方の協力を得ながら少しでもステップアップしていきたいと努力している。	1	評価の結果はステップUPしなければいけないところなどミーティング時に話し合い少しづつでも出来ることを行なっている。今後もその様に行っていく。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員さん、老人クラブ会長さん、地域のお母様方(若いお母様も)参加を促しGHがどんな所なのか理解してもらっていつでも入りやすくなる様心かけている。	1	なるべくGHのまわりの住民の方から声かけを行い、GHがどういう所かを知ってもらいたいので参加してもらい意見を聞く。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括の方との接点をなるべく多くとりたく、幸い「有料老人ホーム」が併設しているため相談しやすく意見など聞いている。	1	「有料老人ホーム」に関係なく相談していく様に努める。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修などには必ず参加しスタッフ皆が少しでも理解出来る様心がけている。又発表の場もミーティングなどで話している。(なかなかむずかしい所がある)	1	今後も必ずスタッフ全員が研修に参加し理解を深めていきたい。又、入居者に必要と思われる方には説明(家族等)に説明している。今後も同様。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に話ずきかけを持っている。ちょっとした事でも虐待につながるため、ミーティング、カンファレンス等でくわしく話し合い記録に残す。(どうしてそうになったのか?)等の話は行っている。	1	家族の方は今までの生活の中で色々な思いがあったと思う。許されない部分、くやしい思い等があったりと。現在一部の家族の虐待におびえ、男性スタッフに拒絶反応がある入居者がいる。家族には事情説明話をするがなかなかむづかしい所があるが、なるべく理解してもらおう様に説明を続ける。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)		自己評価7項目・外部評価3項目	7	
		12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時点で、契約書重要説明書等で説明。理解されにくい所は質問して頂き、説明し納得してもらい同意を得よう心がけている。(特に金銭、重度化等について)	1	GHで今までの問題ごと等頭におき、充分説明理解してもらえる様引き続き努力していく。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	行事ごと等どこにするか、何を食べたいか、どんな事をしたいか。一応皆様の意見を聞いたり強要はしない。参考に取り組んでいる。	1	今後どんな思いをされているのか早く察知し利用者さんにとってどうしたらいいのか話し合いながら対応していく。
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面接時事あるごとと行事ごと等に声かけし、現状の報告今後の対応について説明している。カンファ等にも参加してもらっている。又月1回広報を出している。	1	プラン表広報などで現状を理解してもらい何かある事に常に報告を続ける。。又その中で意見をもらったりしていく。
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の方もいそがしく運営推進会議等に1~2人参加してもらい、何でもわかりにくい所してもらいたい所等の意見をいってもらったりしている。個人のカンファレンスしたりする時の方が意見がよく出ている。雰囲気作り心がけている。	1	なんでも相談しやすい、又話してもらいやすい雰囲気をもっともっと努力していく。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	合同ミーティングでは仕事の事、申し送り等で意見をいったり、それぞれの居室担当者が理解し、他のスタッフに伝え、良い介護が出来る様心がけている。又管理者への苦情は本社年1回のヒアリングが行われている。	1	今後も年一回食事会、年一回本社からのヒアリング等は続けたい。管理者にはいつでも相談出来る雰囲気作りを今後も努力する。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	業務に支障がないよう又スタッフの希望休を取り入れている。入居者様の通院等は家族対応出来ない時はこちらから話をして対応している。	1	有休等はなるべく拒否することなく(長期はむづかしいところはある)受け入れる。現在誕生日月等に有休を入れ連続して休みを取れる様心がけている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基 づく運 営	4 理 念 の 実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよ うに、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利 用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	なるべく職員の移動はしたくないがやむを得ない 場合もある。そんな時スタッフ又入居者の方には ちゃんと紹介し又スタッフ間に関しては指導する 人を固定化し早くなじんでもらう様にしている。	1	基本的にはなじみの関係はうしないたくない。ど うしても必要の時のみを考えている。
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	6	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や 年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生 きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよ う配慮している	性別年齢関係ない。働きたい方は喜んで受け入れ る。得て不得手は誰しもある事。不得意なことは勉 強してもらい研修等も参加理解してもらう様にし ている。得意な事何事も進んでしてもらっている。	1	今後も変わることはない。
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するた めに、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	職員一同、研修などに参加してもらい知識を高め 職場でも活かせる様心がけ、社内でも発表の場を 設けている。同和問題、救命救急は全員参加した。	1	権利擁護の研修も全員参加出来るように心がけた い。(何度聞いてもむずかしい所がある)
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をた て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニ ングしていくことを進めている	実務者研修、管理者研修、段階に応じ質の向上に 向け参加している。資格の有無関係ない。県市の 研修にも参加。復習とスタッフ一同がよりよい介 護が出来る様ミーティング等で発表、勉強してい る。又報告書各ユニットファイルしている。	1	今後も同じように行っていく。一つでも頭におい てよりよい介護を丸となって行っていくよう努 めていく。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、 ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービ スの質を向上させていく取り組みをしている	近くのGH等で交換研修を通し、良い所気をつけな ければいけないところなど向上に向け取り組して いる。又報告書にまとめ発表している。	1	今後近くのGHの方と話し合いながら行っていきたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境 づくりに取り組んでいる	普段の会話の中から相談を受けたり、アドバイス したりもったり又本社からのヒアリングが年一 回行われている。	1	スタッフの意見などはなるべく取り入れ皆で話し 合いをし、スタッフ同志の人間関係等なるべく早 くキャッチしストレスが少なくなる様努力する。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフの向上に資格などの勉強、受講には支援し、又取得後には生かせる環境作りを行っている。年2回の評価を行っている。	1	今後も皆が資格取得しお互い助け合いながら明るい職場環境が作られるよう努める。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	10	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	4	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りと その 対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に面談又家族その他の聞き取り等で状態把握に努めている。聞き取り面談しただけではわからない部分はいくつもある為入居して頂いた時点で様子を見ながら不安がない様話をしながら行う様努めている。	1	今後も同じ本人の思いに向き合ってスタッフが本人に受け入れてもらえる関係を作っていく。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	まず相談を受けた時家族の思いを聞く。無理（GHに向かない方）な様であればGHとはどういう所であるか等充分説明し理解してもらおう様努力し、又GHの方も家族の思いに近づけるよう努力している。スタッフ全員にも話をする。	1	家族の方は全部話をされない方もいっそり少しづつ不安がない様ゆっくり話を傾聴し楽にならしてもらおう。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の希望今まで介護されて来たこと又入居者に合った介護等話をしながら行っている。何が入居者様にとって合った介護で安心してもらえる介護が出来る様努力している。すぐ実践している。	1	家族の思い本人の思い状況を確認し安心した生活が出来様信頼関係をきつきながら行う。
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の方と入居前にGHの事は説明。又本人様同行で見学して頂き納得の上入所となる。入院の方はHPのSW担当医師本人様家族の方に状態を聞き判断（職員一同説明する）入所の時は状態を見ながら合う介護カンファして行く。	1	家族がいっそりやる所は家族の不安がない様十分話をし常に本人様の訴え等を相談しながら介助している。今後も家族の方と本人に合った又希望される介護を行って行く。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	6	
係り と これ まで の 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人誤どうしたいか普段の会話の中から聞き取り、不安苦しみ等がない様又喜んでもらえる様努め又教えてもらえることも沢山あり参考にしたり和やかに生活出来る様努めている。	1	今後も不安がいっぱいにならない様楽しくすごしてもらおう為努力していく。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	心身の状況の変化。生活の中で状態、電話、お便り面会時に説明。その場に合った対応が出来る様家族の方の意見を聞きながら対応に努めている。	1	安心してもらえる様家族本人の意見（本人が理解出来ない方もいるが）話をしながら対応して行く。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会外出などはいつでも出来る事。又外泊GHに止まってもらえることなどもお話させてもらっている。行事などの参加も声かけしどんな表情をされるのかいっしょに楽しんでもらえる様声かけしている。	1	家族本人がいつも安心される様に心がけ、常に相談しながら対応して行く。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所時の家族ケアマネなどの聞き取りにて把握するよう心がけている。又友人家族等特に友人の方には会いに行ける様家族の方と相談しお互いの状態がいい時に連れて行ったりつれてもらったりしている。	1	今後もこだわりのある方については本人の気持ちを尊重する。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	世話をやいて下さる入所者の方には色々なお願い事（特に仕事、新入所者に対しても教えてもらう）や不安にならないよう入所者同志関係がうまく行く様に職員が中に入りパイプ役をしている。	1	古い入所者さんに特にお願いしたりして助けてもらう。（持続しないが常に声かけしながらいっしょに対応している）
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	時折電話したり施設に入所された方に対しては、面会に行ったり家族の方とも電話したりしている。	1	ほとんど施設に入所される方が多く面会に行き、施設の方にも現状を聞いたり家族に報告したりしている。今後も続ける。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	17	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	3	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	人それぞれ、帰りたい方、どこかわからない方、現在の場所が家とあってある方。その方に合ったケアを行い帰りたい方についてはどうしてかゆっくり傾聴して対応。又家族を交えカンファ行っている。	1	今後もカンファレンス等に家族の参加を促していっしょに考え対応していく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入浴前、家族の方と話をし状況把握に努めている。又、ケアマネ等からの情報も聞き、なじんでもらえる様スタッフ一同少しづつ連携を取り把握に努めている。	1	なじみのくらしをなるべくくずすことがない様話をしながら様子見ながら行い対応している。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	先づ入所者本人が今までされていた事、出来る事はスタッフと共に声かけ合いながら対応している。又、むりじいはしない。	1	ADLに関しては「表」につけてみたり少しでも本人が安心して生活出来る様努める。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月に一度のカンファレンス、介護度の見直し、介護計画の見直し、家族を混じえてカンファレンスを行っている。又現在行っている介護を家族の方と話しをし納得してもらい家族の希望も含む介護を行っている。	1	今後もカンファ、モニタリングを続け、家族の参加も無理されない様、声かけ共有していく。
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人に変化が見られた時等は、検討、見直しを行い、効果など評価し、状態の変化、又家族、本人の要望に応じられる様対応している。	1	3ヶ月~6ヶ月で介護計画への見直し、又変化が生じた時の見直しは今後も続けていく。
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録を個別にファイルを作成し、いつでも全職員が確認できる様にし、問題点は申し送りを行って皆が把握出来る様にしている。	1	今後も問題点があれば話し合ってもらい、共有を徹底していく。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	1		
	3 柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	柔軟な対応が出来る様、安心してくらす事が出来る様、スタッフも色々な行事、地域での参加を試みたりしている。	1	家族の状況も大事で、何かがある時は安心される様声かけし、心配されない様スタッフ一同が心がけて対応している。今後も続ける。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	10	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議等を通し、参加出来る事は参加。色々な事を、地域・老人会・自治会・近所の方を通して意見の交換等を行っている。	1	いつも利用させてもらっている神社等の清掃に参加、役をされている方に了解を得たので参加させてもらう。
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	地域で商売されている所等に主に声かけ、購入したり、外部の歯科、マッサージ等の利用もさせてもらっている。理・美容関係もやっている。	1	今後も少しづつ取り組んで行きたい。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議には必ず包括支援センターの方1名参加してもらっている。情報・協力の関係を築いている。	1	今後も包括の方ともしっかり関係づくりをし協力してもらえる様にしたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	GH片江の担当医は24H医療連携はとれているが、個人の(入居される前の)Drとの関係も続けている。家族の希望、又、協力をさせていただいて通院介助を行っている。	1	今後も今と同様、家族・Dr・GHとの関係協同作業を行っていく。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	担当病院に専門医がいる為、指示・助言を受けているが、困難な場合は、他の専門病院、Drを紹介してもらい相談、受診している。	1	一人一人対応が違い、介護度も違う。その人に合った対応がしたいので、Drの指示をもらい、家族、スタッフと相談しながら対応している。今後も行う。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	24H医療連携をとっている為、週1回の訪問看護を健康チェック、緊急の場合の対応相談をしている。気軽に相談できる為、非常に助かっている。	1	今後もこの関係を続け、看護師と連携医療機関との連携を密にとれる体制を続けていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	レベル低下を防ぐ為、面会に行き、担当医・看護師等と話をしなるべく早く退院できる様アプローチしている。又、家族とも情報交換しながら、行なっている。	1	一日でも早く退院できる様に、又帰苑されても以前と変化がない生活をしてもらえる様、Dr、看護師、家族、スタッフと話し合いながら対応する。
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	先ず入居時家族の考え、本人に対しての対応策を話している。重度化した時の対応策、週末はDr、家族、看護師を交えて話し合いを行い対応している。	1	今後も同じ様に行なっていく。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化に向けて、家族、本人の意向を聞き、Dr、スタッフ、看護師が連携をとり安心していただけるよう話し合い取り組んでいる。	1	Dr、家族、看護師、スタッフの連携をとり、安心した納得していただける様対応していく。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化に対するダメージ(家族・本人)プラン、アセスメント等の支援状況、情報等事前に知っていただいている。変化がない様な対応していただく様こまかな連携を行なっている。	1	今後も同じ様に細かな情報を送り、変化(環境)に早くなじんでもらい、ダメージがない様対応していく。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1~2 (自己 52~89・外部 23~33)				自己評価38項目・外部評価11項目	36	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)~(5) (自己 52~81・外部 23~30)		自己評価30項目・外部評価9項目	29	
		52 外部評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52~54・外部 23~24)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
			プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーには気を配っている。家族の方以外に話すことなど先ずない。ミーティング等においてスタッフの意識確認等話し合いをしている。	1	利用者にプライバシーや尊厳を損ねない様気をつけ対応していく。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	難聴、言語障害がある方には、それぞれの対応をし、希望等日常の中で生活をしやすい様対応している。	1	安心して楽しく生活して頂く為、強制せず、一人一人の入居者が自分で決めてもらう様に対応していく。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事等はあるが、なるべく本人の希望を聞きとり、参加したくない方は無理にはしない。又、ミーティング、カンファ等を通し、その日の体調等に配慮しながら対応している。	1	買物、散歩、行事、レクリエーション色々であるが、状態等、状況に応じたい対応していく。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	大抵女性の場合、自分で出来る方は自己決定、男性の方はかまわない人が多く、一緒に遊び考え楽しんでもらっている。女性の場合、出かけたりする時は化粧される方もおり、いっしょに喜びほめている。	1	その人に合ったおしゃれを心がけ行なっていく。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月1回~2回の手作りの日を設けている。その時、入居者の方に何を食べたいか聞きとり、希望にそった手作りをしている。又、一緒に男性、女性関係なく参加してもらっている。	1	手作りもそうだが、外食等も本人の希望される食事をしたり、喫茶に行ったり対応している。今後も続ける。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒について、飲酒してはいけない方もあり行っていない。お正月の「トソ」のみしている。タバコについては、預かり、本人が吸いたい時に気持ちよく吸ってもらっている。	1	今後も同様楽しんでもらえる様対応していく。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄がわからなくなった方に対しては、動向を把握したり時間を見ながら、トイレ誘導し、気持ちよく排泄できる様心がけている。	1	例えば紙オムツ、パンツ使用の方でもパターンを把握し、表等作り、トイレ誘導していく。
59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日は決めているが、順番は決めていない。いつも一番に入浴される方に対しては、状況説明して譲ってもらったりし、それぞれが気持ちよいように支援している。	1	曜日は決めているが、順番は決めていない。又、通院、外出等の方については、入浴をしたい方は早めに対応している。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1人1人に合った、好きにすごしてもらっている。不穩、徘徊の方に対しては、付き添ったりし、安心してもらえる様対応している。	1	今後1人1人好きに一日をすごされる様工夫しながら対応していく。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	料理、音楽、昔の職業、趣味等通して、月1~2回の手作りには、男性、女性関係なくいっしょに楽しんでもらっている。音楽が好きな方は、得意楽器を使ってもらい、他の皆様といっしょに歌を歌ったりされる。	1	大工さんだった方、営業マンだった方に対し、どんな風に修理したらいいか、又、こんな時どんな話をしたらいいか聞いたり、又、外出が好きな方は散歩、買物したりする場面作りを今後も行なっていく。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人さん、管理の方、事業所管理の方についても好きな物を買ったり、お金の使い方等忘れられない様、少額手に持ってもらうたり、支払いをしてもらうたりの対応をしている。	1	喫茶店、買物等に行く機会が多い為、本人が支払われる様対応していく。
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日、本人が気分転換を図る、又、季節を感じてもらい心身のメリハリに心がけている。又、喫茶店に行ったりドライブに言ったり、楽しんでもらえる様心がけている。	1	今後もその日、その方に合った対応を心がけていく。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	若い時の友達の方、生まれた場所等、家族、スタッフと十分話し合いを行い、協力してもらったり、スタッフが同行している。	1	なるべく本人の希望をかなえたい為、家族、本人、スタッフで体調、気候の良い日を話し合い対応していく。
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀、書中見舞い等、季節を感じてもらいたい為、声かけ対応している。友達、家族への手紙の交換の希望の方は、職員もいっしょに考え対応している。	1	手紙が来ると喜ばれる為、字がかけなくなった方は、スタッフの協力で対応し、家族等喜ばれる。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	いつ来てもらっても大丈夫な様に心がけ、ゆっくり話が出来る様に居室にてお茶等召し上がってもらいながらゆっくりすごせる様工夫している。	1	家族の仕事帰り等、訪問時間等は決めていない。気軽に立ち寄っていただくよう心がけ対応していく。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	権利擁護や身体拘束に関する勉強は、研修等通し知識を少しずつ持つよう努力して、勉強会・ミーティング時、時間をとり皆に理解してもらうよう努力している。難しい為、少しずつ理解できていくといい。	1	今後も 1人1人(スタッフ)研修に参加してもらい理解を深めていく。	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 外部評価 29 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	落ち着きなく外出しそうな時等、さりげなく声をかけ、行動を共にしたり、話を傾聴したりし、安全を確保しながら対応している。	1	精神的な方が多く、季節によって、天候によって不穏になったり落ち着きがない時は、外出したり、外食したり対応を心がけている。今後も続ける。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中フロアーにてすごされている方は、常にスタッフが声かけ見守り、居室にてすごされている方は、時々様子をうかがい声かけたりし、安全に楽しくすごしてもらう様に心がけ対応している。	1	日中は確認しやすい。夜間不眠の方もいらっしゃる。そんな時、いっしょにお茶を飲んだり食べたり、世間話をしたりし対応、又、数時間おきの巡回確認、声かけを行なっている。今後も同様に対応していく。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	先ず、精神的不穏がある方、歩行不安定な方等、その方の状況に応じ、危険な物、管理が必要なものに関しては、家族、本人、職員と話し合い対応している。	1	注意が必要な物に関しては、スタッフ、家族と十分話し合う。	
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	それぞれに注意が必要な方に対しては、常に見守り・付添・声掛けを行い対応。安心して安全に生活して頂く様、モニタリング、カンファ等を通じ、対応している。	1	危険だったこと、ヒヤリとした件については、「ヒヤリハット」を記入、その都度感ファしており、家族にもすぐ連絡し、Dr、看護師の指示をもらい対応している。			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急の対処方法の勉強会、訓練は全員受講し、急変時の対応ができる様にしている。6月～7月にかけて、全員受講したばかりである。	1	道で心臓発作で倒れた方に対しても、マウストゥマウス、心臓マッサージ等に対応した事もあり、その場の対応ができるようになってきている。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消化訓練、避難場所の確認を行なっている。年2回訓練、自治会会長様にも相談、協力を得ることの確認済み。	1	今後も年2回訓練を行っていく。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	1人1人の状態把握に努めている。又、家族にも説明、協力を得る様に心がけている。精神科の方(統合失調症)の方もいらっしゃる。不穏時は大変だが、その時段階の所のかぎをしたりするが、その他はかかっている。	1	今後も気分転換を図ったりしながら対応していく。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	6	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	1人1人の状態の把握は出来ている。申し送りの中で状態の変化等、特に時間をかけ申し送り、又、医療機関との連携もと、指示に従い早く対応している。	1	大切なことなので、常に心がけ、特に特定疾患の方の変化には気を配っている。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は必ずもらい、把握できる様、服薬ファイルを個別にする。又、スタッフ一同がかかわる様、準備、配薬を行っているし、お薬が変更になった時は、必ず申し送りをする。	1	服薬時は必ず2人で行っている。今後も行う。又、個人に名前等確認しながら対応も続ける。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の方に対しては、昔からの方が多く、自然は排便ができる様、Drと話したり、散歩、水分補給、体に良いドリンク等で個人に合った対応を行っている。	1	高齢の方は動作もにぶく、排便のコントロールもスムーズではない。難しいところもあるが、現在はなんとか対応している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯みがきの声かけをし、介助が必要な方には行い、就寝前は義歯洗浄を行っている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ごはんの量が決められている方以外、不自由な様、摂取して頂いている。又、飲み込み、歯のない方に対しては、刻んだり、トロメたり工夫し見守り声かけしながら対応している。	1	1人1人に合った食事摂取を心がけ、安心して楽しく摂取してもらいたい。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアル作成と、研修には必ず出席。ミーティングで発表し、皆予防対策に努めている。冬のインフルエンザに対しては、入居者、スタッフ一同予防接種を行っている。又、腸内検査も行っている。	1	今後同じように対応していく。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日食事は作られていないが、まな板、布きん、包丁、茶わん等は漂白剤等で消毒、又、冷蔵庫に入れておく必要な物については、賞味期限はチェックしている。	1	台所まわりの清潔に心がける。	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	7	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	4	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には、わかりやすい様に看板、植木等でわかる様に工夫している。	1	2F、3Fがグループホームになっており、各階の入り口にわかりやすく看板を作る。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お食事する所、TVを観る所と設けている。ホールは季節感が出る様いっしょに手作りしたもの等はったり、おいたりし工夫している。又、音楽を流したり、心がけている。	1	安心して生活出来る様、楽しく五感、季節感を味わってもらえる様工夫していく。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下がせまく、イス等置くスペースがないが、1ヶ所のみソファ等を置き、入居者さん同士が話し、楽しんでいる。TVの部屋もあり、ここでは男女関係なくソファに座り、スタッフと話をしたり楽しんでいる。	1	この場面を動かすことは難しい為、このまま、色々な方を交え楽しんでもらいたい	
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用されていたタンス、布団等は持参されていい為、居室も思い思いの置き方、しまい方で、いっしょに整理したりし、安心される様な工夫に心がけている。	1	本人が買いたい物、使いたい物、ほしい物については、予算が許す限り同行で買物に付き添い行って、居室空間に1つでも物が整理され喜ばれる様心がけ対応していく。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝一番は必ず空気の入れ替えを行い、温度調節は共有部分、居室との差がない様にある程度一定の温度に設定することを心がけている。昼食後、ホールの掃除も行っている。	1	温度調節に心がけ、体調変化がない様、様子観察を行い、発汗がある方は清拭を行い、衣類交換をうながし、見守り介助。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	3	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有部分については、手すり等を設置し安全に生活出来る様心がけている。自室については、歩行しやすい様工夫している。	1	何時までも自立でいられる様に心がけ、1人1人に合った生活・安全確保。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	いつまでも自立した生活を送って頂きたい。混乱されない様、目印を作ったり、その時の状態に合わせ、不安になれない様、スタッフと本人と家族で相談しながら対応している。	1	不安でいる方は、朝から一日中混乱されている。安心して頂く為、合ったケアを心がけている。	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	2Fベランダ、建物のまわりに花を植えたり、季節の野菜を植えたり楽しんでもらえる様対応している。	1	本年はじゃがいもがとれ、喜ばれていた。今後も色々、育ちやすいものを植えたりして楽しんでもらいたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。